

原水爆禁止2021年世界大会

ヒロシマデー集会(オンライン参加)

櫻井 捺美(なないろ訪問看護)

私は原爆について小中高と学ぶ機会がありましたが、社会人になりほとんど考えることもなく過ごしてきました。

今回、ヒロシマデー集会に参加させて頂き、正直難しい言葉が多く、しっかり理解したかと聞かれると、分らない事がたくさんありましたが、プロバイダーの武本さんが語られた「世界の海」、原爆の実体験を語ってくださった方の話はスツと入ってきました。

私が毎日仕事と育児を平凡に過ごしているのは、戦争がないからだと思います。



自分の子どもまたその子どもたちへも、この幸せな平凡を受け渡すためには、私がもう少し視野

を広げて、戦争と原爆について学び世界の動きや、日本国憲法などを知っていかうとしないといけないと感じました。

子どもが学校だけでなく私たちからも戦争を学べるように、自分も知って学んでいきたいです。

夏休み 子ども食堂



8月4日「全日本厨士協会滋賀県本部」のご協力により、ホテルポストンプラザ草津のシェフの方々に来ていただき、手作りの特製弁当を子どもたちに食べてもらいました！

食事の前にはこどもたちの質問タイム、「どうしてコックさんになったの?」「美味しい料理の作り方は?」「得意料理は?」など等。

子どもたちからの質問に対して、一つひとつ丁寧にこたえてくれました。子どもたちにとってシェフの仕事を知る、良いきっかけになったのではないのでしょうか。

医療福祉生協の情報誌「コムコム」

子ども食堂&寺子屋の取材を受ける

コロナ禍のもと8月18日の水曜日コロナ対策の中でもまん延防止策を徹底したうえで開所をする「子ども食堂」を全国に紹介するため、医療福祉生協の情報誌コムコムの取材班が来られました。



滋賀県では、8月8日からのまん延防止重点措置の為、8月18日の「子ども食堂」は運営時間を12時まで短縮とし、昼食を中止することになりましたが、NPO 法人子ども食堂センター「むすびえ」を通じて、JA全農からお米を頂き「子ども食堂」に来ている所帯を対象に、一袋(約2キロ)のお米を持って帰ってもらいました。

今回の寄付につきましては「コロナ禍で影響を受ける子どもたちやその家庭」に、食の面からの支援との趣旨でいただきましたので緊急事態宣言に伴い「子ども食堂」の開催を中止しますが、私たちの手の届かない「子どもたちや家庭」がありましたら、ご紹介いただくか取りに来てもらってください。

連絡先 Tel: 077-574-8522 (生協本部事務局: 山崎)

